

「コーリー・グッドが深層国家の最大のネメシスを明らかにする」—概要（3）

Greatchain

2019/01/27

司会者： こういう暗黒世界の犯罪者たちの最も恐ろしい犯罪として、中国の「法輪功」やキリスト教徒などについても言われている、生体から臓器を抜き取るといわれる行為について、わかっていることがあれば教えてほしい。

Corey Goode: 北朝鮮と戦争するのか思っていたとき、私の受けた沢山の情報の中にそれがあった。北朝鮮人が収容所に連れてこられると、そこでまず、生まれて初めて栄養のあるものを食べさせられ、その後で、西洋で売るために臓器を取られるという話だった。臓器取引シンジケートのブラックマーケットは、彼らの中でも最も冷酷なものだ。人間取引で命を失う沢山の人は、もう一つ臓器の提供という役目を果たして死ぬわけだ。（訳者——こういう残虐の科学的根拠になっているのが、ダーウィン進化論である。彼らも何らかの信仰を必要としている。）

ロブ(司会者): 実は私は質問がありました。私の仕事はクリエイティブ・ディレクターで、記者室に長いこといました。ベンはずっと写真家で、我々は与えられるウソと騙しを観察していました。そして人々には全く認識できない、霊的で現実的な UFO の問題などを、どうして一般の人々に知らせるかを考えていました。そして、あなた方が Above Majestic の制作で感じていること、プロパガンダがどのように成功するのかを考えています。そして時に、「一度、彼らの薬がどんな味がするか、飲ませてやろうではないか」と考え、現実の本当の価値に基づいた、大きな仕事をして、民衆に判断させようと思うことがあります。

（訳者——これは私も常に考えている。ウソをついたらこんなひどい目にあうぞ、とメディアに目の前で見せてやりたい。）

そこで気づいたのは、大衆があなた方のような仕事を見たときに、「おお、これは背後でいろんな細工をしているぞ、背後に誰かネガティブな者がいるのだろう」と、3次元映像でも見るように言うことです。私は教えてやりたい、あなた方のような内容のものを製作するのが、どれだけ大変な事か、それを映画にして皆にわからせることが、どれだけ大変か、わか

っているのか。だから、あなた方のような角度から、芸術的に、創造的に仕事をするには、どうすればいいのだろうか？ これは我々の仕事のとても大きな部分です。

Corey Goode: 私が最初、このような発表形態を始めたとき、私のやり方は古い調子のものであった。デイヴィッド・ウィルコックの真似をしたりした。これが不評なので、Roger と Renee がこれを進歩させた。Renee はそれでグラミー賞を取った。(ロジャー：オスカー賞だよ、それは。) それで突然、我々は 大好評のプレゼンテーションをやり始めた。人々は、「おや、何が始まるのだ」と言い始めた。すべてがハリウッド式だった。すると、初め、我々のやり方の効果を馬鹿にしていた連中が、これを真似するようになった。それで、あの最初の不評の背後に何があったのだろうと考えている。

Roger Richards: そこには、芸術についての考え方があると思う。芸術創造とか、芸術家としての自己表現とか、物的な世界でそういう誇りをもつとか。人々を引き付けて、理解させ、反応させるとはどういうことなのか？ 私の立場から言うと、私は最初から、現実メディアの音楽などをつくって、かなり芸術家の意識をもっていた。映画でも、それがこの世界で戦う私の方法なのだ。

私は芸術家の旅、特に飢える芸術家というアーキタイプを考える。もし文字通りそれを言うと、何かほとんど、芸術家に錬金術師のような魔法があるかのように思える。彼らは会社で使われていて、自分自身の力を理解していないのだ。芸術家がこの世界でもつことのできる力を理解していない。彼らの持つ力は莫大だ。そして誰でも自分の中にそれをもっている。

コーリーが言っていた観点、つまり集合意識から考えて、ひとりの無限の創造者が、存在するすべての人間に向って爆発することを考えると、我々はすべて、その創造者の一部なのだ。それがすべての人間の根底にあるものの源だ。創作をする人でも、グラフィック・アーティストでも同じだ。あるいは、次のレベルの薬を創造している医者でも同じだ。我々すべてが、ある意味で創造と芸術にかかわっているということだ。

そこで、我々が集合体としてやり遂げる何らかのプロジェクトに話を戻すなら、我々すべてが、それに貢献する芸術家なのだ。それで、私がこの場所について話すのは愉快的なことだ。彼らは明らかに、CIA からカネをもらっている連中だからね。もしあなたが、ほんの一瞬でもその背後に踏み込み、それを支えようとして、献身的に創造しようとしている者たちのつながりを見ることができれば、あなたはそのエネルギーの大きさに圧倒されて、自分の存在などなくなるだろう。人はそういう所へ潜入したいと思う。そこにいる人々が、そういうものに共鳴する理由は、彼らが真理を聞いたときに、体全体でそれを感じずるからだ。そしてこれが人々を行動に駆り立てるのだ。そういう場所へ近づくほど、人は創造者になり、そうい

うやり方でその真理を導き出す。人々がそれに反応しているのを見てると、明るくなり、笑い、愛を感じている。もしそれが我々の来た場所から来ているのであれば、止めようとしても止まらないのだ。

2人の司会者：これはすごい話だ。頭を殴られたような、我々に対するすごい解答だ。そのメッセージは何だろうか？

Roger Richards: 人類に対するそのメッセージは、我々はもっと人を愛し、自分自身に対しても、他者に対しても、もっと許せるようにならなければならない、ということだ。我々は他者に奉仕するということに、日常のレベルで、集中しなければならない。そして我々の波動と意識を高めることに専念しなければならない。

(**訳者**——これは、彼らの共通の友人である David Wilcock の一貫した哲学である。ウィルコックは、今、自分はアウトサイダーの立場から、インサイダーの立場に変わったと言っている。彼は、南極の古代文明などについて、トランプ政権に解説することになっていると、コーリーが言っていたように、彼やこの2人の友人は、知識においても哲学においても、トランプ政権に大きな影響を与えるだろう。彼らのような哲学や宇宙論でなければ、新しい世界への転換は起こらないということ、唯物論はもう通用しなくなるということが、そのメッセージである。)

(3はここまで)